	シーズ名	**サマリー、診断書、紹介状などの自動文書作成ソフト開発**
	氏名・所属・役職	山本　朋納・医学研究科　救急医学・臨床研究医

＜概要＞

医師の病院業務において診断書や紹介状、サマリー作成など事務的な業務が日常診療の大きな負担となっている。また、看護師やリハビリなどでもサマリー作成が必要であり、他の業種でも文書作成は負担となっている。医療機関によっては医療事務がある程度の業務を行っているが、人件費が増加することが問題となっている。さらに、文書作成用のテンプレートは様々なものが作られているが、最終的に項目ごとの記載は必要であり、簡便性に乏しい。

＜アピールポイント＞

文書作成自体はある程度形式化しているため、ソフトの開発も比較的容易と考えられる。文書作成ソフトが普及すれば、病院職員の負担軽減だけでなく、業務能率も向上することで病院全体の利益の上昇に貢献できると考えられる。

＜利用・用途・応用分野＞

・まずは病院などの医療分野に利用していく。
・電子カルテの病名や主要な処置コスト入力などが文書作成ソフトと連動することができれば、さらにサマリー作成が容易となり、紹介状も迅速に作成できる。
・医療系に限らず文書作成を必要とする業界に対しても応用可能と考えられる。

＜関連する知的財産権・引用文献・学会発表など＞

なし

＜関連するＵＲＬ＞

http://ocu-ccmc.jp/

＜他分野に求めるニーズ＞

ソフトウェア開発

キーワード	自動文書作成、ソフトウェア開発